

マスターズ甲子園香川プロジェクトのご案内  
～目指せ甲子園。永遠の高校球児たちへ～

---

2019年2月10日



## **Agenda**

1. マスターズ甲子園とは？
2. マスターズ甲子園香川プロジェクトが目指すもの
3. マスターズチームの作り方
4. 発生する費用について
5. 高松高校野球部マスターズチームの取り組み
6. 第15回マスターズ甲子園視察レポート
7. 今後のスケジュール

## 元高校球児が母校のマスターズチームを結成し、甲子園で開催される全国大会を目指す

### ■ 41都道府県650校が参加。別名「秋の甲子園」。

41都道府県650校が参加し、毎年11月に甲子園球場で開催される全国大会出場をかけて地方予選を戦う。全国大会に出場できる枠が限られているため、各県は2年に一度のペースで出場権が与えられる。故星野仙一氏（元プロ野球選手）や重松清氏（作家）が役員を務め、2015年には当大会を題材にした映画「アゲイン 28年目の甲子園」（主演：中井貴一）がヒットするなど非常に著名な大会である。

### ■ 各県事務局は、地方予選開催に加え、野球界の発展に貢献するべく様々な活動を展開

マスターズ甲子園の地方予選を主催する各県の事務局は、競技人口の拡大や野球文化の継承発展などを目指し、多様な活動を実践している。

例) こども・女性向けの野球教室、保護者向けのスコアラー研修、プロアマ合同の協議会の設置など

#### 組織概要

項目	内容
正式名称	全国高校野球OBクラブ連合
事務局	兵庫県神戸市灘区鶴甲3-11 神戸大学発達科学部マスターズスポーツ振興支援室内
事務局長	長ヶ原 誠（神戸大学教授）
加盟校数	41都道府県650校（2018年11月時点）
活動	マスターズ甲子園の開催

#### 大会概要

項目	内容
正式名称	マスターズ甲子園
日程	毎年11月第2土曜日・日曜日
会場	阪神甲子園球場
参加校	16校
第1回大会開催年	2004年

### 目標

#### ① 生涯スポーツとして野球を楽しむ

・マスターズ甲子園香川県大会の開催を通して、香川県の元高校球児が野球を生涯に渡って楽しみ、自己実現・健康増進・野球人の交流促進に寄与する。

#### ② 野球界への貢献

・私たちの人生に大きな影響を与えた野球に感謝し、その楽しさをより多くの人々へ伝える活動を通して、香川県内の野球人口の拡大や野球文化の発展に寄与する。

### 活動計画

#### 【2019年～2020年の活動計画】

##### ① まずは2019年10月までに加盟校8以上！

・マスターズ甲子園の地方大会を開催するためには、8校以上の加盟が必要。2020年に香川県の代表校を甲子園に送り出すには、2019年10月までに残り7校以上の加盟が必要。

##### ② 2020年夏の地方予選開催

・8校以上の加盟校による香川県予選を2020年夏に開催予定。また、プレ大会として今夏に交流試合を開催予定。

### 組織概要

項目	内容
正式名称	マスターズ甲子園香川県事務局
担当者	谷村 一成（高松高校H25卒）
加盟校数	高松高校（2019年元旦時点）
活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスターズ甲子園香川県予選の開催</li> <li>・香川県の野球界に対する貢献活動</li> <li>・本部 &amp; 各県事務局との連絡</li> <li>・加盟校の認可やその他事務</li> </ul>
連絡先	masters.kagawa@gmail.com

### チーム結成は非常に簡単！

#### ■ チーム結成条件

1. 29名以上の登録があること

2. チームメンバーのうち15名以上が35歳以上であること

※年齢は登録年度の4月1日時点を基準とする

3. マスターズ甲子園HPの登録フォームから申請をすること

※学校名・代表者名・登録者数（名簿の提出は不要）・担当者情報と簡単なアンケートを回答するのみの簡易な登録フォーム

4. 全国高校野球OBクラブ連合登録費10,000円を支払うこと

#### ■ メンバー登録ができる方の条件

1. 高校の硬式野球部に1日以上選手・マネージャー・指導者として所属した方

※母校以外のチームへの登録はできません。途中で退部していても、1日だけでも在籍していればメンバー資格があります。

→様々な理由で志半ばで野球を断念された方にこそ、マスターズ甲子園に参加してほしいと考えている。

2. 男女共に、大学野球（硬式・準硬式）、社会人野球（企業チーム・クラブチーム）の現役選手、ならびに現役のプロ野球関係者ではないこと。

※上記に該当する方でも引退後はメンバー資格があります。

※軟式野球の現役選手や選手以外の大学・社会人野球関係者はメンバー資格があります。

## よくある質問・誤解など

### ■ 引退後、全く野球をしていなかったのにレベルについていけるか不安

あくまでマスターズ甲子園の目的は、生涯に渡って野球を楽しむこと。練習の頻度や強度は各自の仕事や身体状況に合わせて自由である。また、過去のスパルタ指導や過度な上下関係は野球界の発展を阻害する悪しき慣習とみなし、マスターズ甲子園は反対している。

### ■ 硬式野球ができるか不安

2015年に開催された「甲子園100周年記念大会」において、高松高校は最高齢は85歳、40歳以上も約50名が硬式野球をプレーした。また、2018年より軟式ボールも硬式ボールに近い使用感となっている。

### ■ メンバー登録をしても忙しくてあまり参加できない

練習や試合、その他イベントは自由参加が原則。他県のマスターズ甲子園出場校も、普段の練習は2~3名程度の参加者であることも多く、試合だけの参加や数年に一度の参加も普通。

### ■ 先輩優先で若手は試合に出られないのでは？

3回までを34歳以下のチームで試合を行い、4回以降を35歳以上のチームで試合を行うルールのため、世代を超えて野球を楽しむルールとなっている。

### ■ 甲子園常連校がマスターズでも強いのでは？

2004年以降、203校がマスターズ甲子園に出場したが、そのうち34校は現役チームの甲子園出場経験がない。

#### 4.発生する費用について（加盟校10と仮定した場合）

項目	詳細・備考	価格	1チーム当たり費用
登録費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国高校野球OBクラブ連合への加盟費用</li> <li>※加盟初年度のみ発生</li> </ul>	¥10,000	¥10,000
年会費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国高校野球OBクラブ連合へ支払う年会費</li> <li>※同一都道府県に8校以上の加盟校が存在する年度に発生</li> </ul>	¥10,000/年	¥10,000/年
大会出場費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会参加時に全国高校野球OBクラブ連合に支払う出場費</li> <li>※原則2年に一度、各都道府県にマスターズ甲子園への出場枠が割り当てられる。</li> <li>※2019年以降の出場枠選出方法変更に伴い、2年連続で出場枠が割り当てられる可能性が存在。そのため、毎年徴収する必要あり。出場枠が割り当てられなかった年は事業費として貯金。</li> </ul>	¥500,000/年	¥50,000/年
地方予選開催費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レグザムスタジアム使用料（約90,000円）</li> <li>※10校トーナメントの場合9試合。1日最大4試合かつ同一チームが同日2試合となることを避けると、大会期間は4日間（うち3日間は半日使用）</li> <li>・大会使用球費用（約60,000円）</li> <li>※1試合6球消費×9試合で計算（1ダース約12,000円）</li> </ul>	¥150,000/年	¥15,000/年
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニフォーム費用、ヘルメット費用</li> <li>※統一したユニフォームである必要がある。デザインは母校のユニフォームに近いもの。世代による違いは可。ロングパンツは不可。スパイクは黒のみ。背番号は1~99（可能な限り50以内の番号）</li> <li>・練習着や野球道具、練習用具等の購入費用が別途必要</li> </ul>		各チーム・個人による

※物品・資金面での協賛や寄付を集めている他県事例あり

## 活動実績

名称	高松高校野球部マスターズチーム
設立	2018年8月5日
代表者	中原大道（高松高校H6卒）
事務局	谷村一成（高松高校H25卒）
登録者	41名（2019年元旦時点）
備考	高松高校野球部OB会公認



## 【これまでの活動】

2018年8月5日：設立

→呼びかけから1か月以内に最低登録人数突破。松家卓弘さん（元プロ野球選手）や田窪朋広さん（H18甲子園出場）、梶原直景さん（香川オリーブカイナーズ選手）が呼びかけに協力。

2018年10月13日：四国新聞朝刊にチーム設立が掲載

2018年11月9日：全国高校野球OBクラブ連合総会に出席

2018年11月10日：第15回マスターズ甲子園大会開会式参列

2018年12月30日：kick off交流会

→県外組が帰省するタイミングで実施

2019年2月2日：第1回練習会（高松と東京の2会場で開催）

→東京と香川で練習会を偶数月第1土曜に開催



**メンバー登録者数：41名**

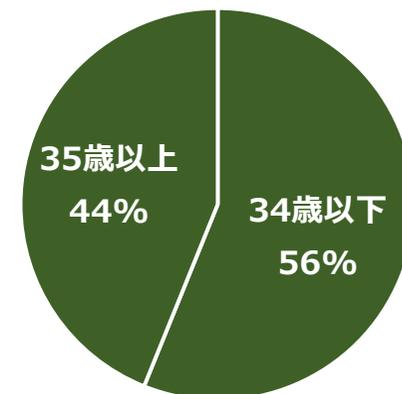
【卒年区分】

卒年	人数	率
H24	8	19.5%
H6	4	9.8%
H25	4	9.8%
H18	3	7.3%
H19	3	7.3%
S54	2	4.9%
S55	2	4.9%
S58	2	4.9%
H3	2	4.9%
S44	1	2.4%
S47	1	2.4%
S52	1	2.4%
S56	1	2.4%
H5	1	2.4%
H7	1	2.4%
H9	1	2.4%
H16	1	2.4%
H17	1	2.4%
H21	1	2.4%
H23	1	2.4%
総計	41	100%

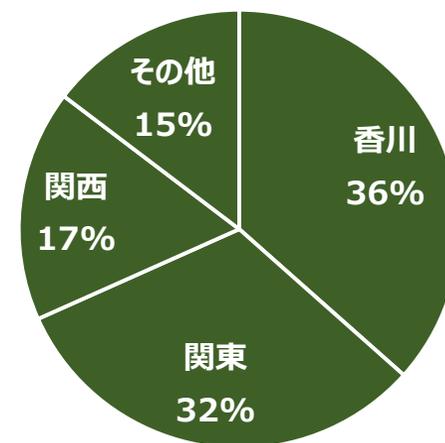
【居住区分】

居住地	人数	率
香川県高松市	13	1.3%
福岡県福岡市	2	0.2%
茨城県つくば市	1	0.1%
岡山県岡山市	1	0.1%
千葉県千葉市	1	0.1%
兵庫県伊丹市	1	0.1%
大阪府大阪市	1	0.1%
徳島県阿波市	1	0.1%
香川県丸亀市	1	0.1%
大阪府泉佐野市	1	0.1%
東京都大田区	1	0.1%
神奈川県横浜市	1	0.1%
千葉県市川市	1	0.1%
東京都豊島区	1	0.1%
東京都文京区	1	0.1%
兵庫県明石市	1	0.1%
兵庫県神戸市	1	0.1%
東京都武蔵野氏	1	0.1%
東京都品川区	1	0.1%
中国上海市	1	0.1%
その他	8	0.8%
総計	41	4%

【年齢区分】



【地域区分】



## ◆他県事務局活動事例

徳島：子供向け野球教室、長野：女性向け野球教室、女子プロとの定期戦、富山：BCリーグと共同野球教室

## ◆他県代表校活動状況

練習：大会直前に2回ほど（参加者4名程度）多くはぶっつけ本番で個人練習に依拠。

## ◆マスターズ甲子園の野球レベル

個人差が大きい。35歳以降で130キロ投手もいれば、守備や走塁で足がもつれて前に進まない方も多い。

## ◆大会運営

運営は甲子園さながら。スタッフは神戸大の学生ボランティア中心。また、近隣中学校吹奏楽部がブラスバンド演奏。

### 視察概要

項目	内容
日時	2018年11月9日（金）・10日（土）
会場	阪神甲子園球場 他
参加者	日下正明・谷村一成（敬称略）
視察イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国高校野球OBクラブ連合総会</li> <li>・第15回マスターズ甲子園前夜祭</li> <li>・第15回マスターズ甲子園開会式</li> <li>・第15回マスターズ甲子園第一試合</li> </ul>
大会出場校（参考）	日大東北・多良木・富山・藤嶺藤沢・大府・宇和島東・伝習館・国学院久我山・三重・広陵・大和広陵・中津・小松島・長野県選抜・沖縄県選抜・北海道選抜（計16校）



## 7.今後のスケジュール（2019年1月～2020年12月）

2019年2月

マスターズ甲子園香川説明会

→各校OB会代表者に対して説明会を実施

→参加18校は、一旦4月末に方向性を事務局に回答

2019年5月

参加予定校による代表者会議

→交流試合や今後の香川県マスターズプロジェクトについて検討

2019年8月

マスターズ甲子園香川県交流試合開催

→2020年の地方予選に向けて大会運営経験を身に着ける & 気運を高める

※審判の方の確保・その他大会スタッフの確保・会場問題

2019年10月

加盟校8以上達成

2020年8月

マスターズ甲子園香川県予選開催

2020年11月

香川県代表チームがマスターズ甲子園出場

※吹奏楽部・応援団卒業生会による単独or合同応援団の結成も検討必要

